

## 社会科（公民的分野）調査資料 作成の観点

書名 項目	○○○○○ ○○○○○	発行者番号 発行者名
内 容	<p><b>&lt;知識及び技能が習得されるようにするための工夫&gt;</b></p> <p>○個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深められるように、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けられるように、どのような工夫が見られるか。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b></p> <p>○社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題について公正に判断したりする力を養うために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養うために、どのような工夫が見られるか。</p> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b></p> <p>○現代の社会的事象について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養うために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めるため、どのような工夫が見られるか。</p> <p><b>&lt;課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫&gt;</b></p> <p>○分野の学習において適切な課題を設定し、その課題の追究のための枠組みとなる多様な視点（概念など）に着目させ、課題を追究したり解決したりする活動が展開できるように、どのような工夫が見られるか。</p>	
資 料	<p>○学習効果を高めるために、資料には、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○資料の配置、資料と本文との関係には、どのような工夫が見られるか。</p>	
表記・表現	<p>○学習効果を高めるために、表記・表現（見出し、記号、用語、脚注等）に、どのような工夫が見られるか。</p>	
総 括	<p>（全体的な特徴、その他）</p>	

書名 項目	<h1>新しい社会 公民</h1>	2 東 書
内 容	<p><b>&lt;知識及び技能が習得されるようにするための工夫&gt;</b>          ○各章のはじめに身近な生活をテーマにした「導入の活動」が示されており、各章ごとに設定される「探究課題」は、社会との関わり方を考えるものにするすることで、個人と社会との関わりを中心に学習理解を深められるように工夫されている。また、資料の読み取り方・収集方法等を紹介する「スキルアップ（9テーマ）」や、それを活用する「活動コーナー」が適宜設定されており、技能を身に付けられるよう工夫されている。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b>          ○思考力、判断力、表現力等を効果的に育成するため、思考ツール等を用いて考えを整理し、探究課題解決につなげる「深めよう」や、小集団の協働的な活動を行う「みんなまでチャレンジ（21テーマ）」が設定されている。</p> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b>          ○章の最初に「探究課題」を示し、「まとめの活動」において思考ツールを使った学習内容の整理・解決により何を学んだのかを捉えられるよう工夫されている。          ○持続可能な社会の形成を意識できるように、現代的な諸課題を五つの視点で捉える3年間の社会科学学習を貫くテーマが設定されている。</p> <p><b>&lt;課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫&gt;</b>          ○各章が課題解決的な学習のプロセスを可視化した、導入・展開・まとめの単元構成となっている。また、「探究課題」「探究のステップ」「学習課題」の3段階の問いを設定し、課題を追究・解決しやすくなるよう工夫されている。</p>	
資 料	<p>○学習効果を高めるために、各章の導入等に他分野・他教科との関連を示すマークが付され、多面的・多角的に学習を進められるよう工夫されている。また、QRコードやURLのリンクから、他分野・他教科の紙面確認や補習用のシミュレーション、動画が活用できるようになっている。さらに、学習内容を深化させるための「18歳へのステップ」コーナーや、対話的な活動「みんなまでチャレンジ」等が設定されている。</p>	
表記・表現	<p>○全体の書体はUDフォントを採用し、資料の部分は本文との区別を視覚的に分かりやすくする地色を敷いて区別する等、見やすくなるような工夫がされている。          ○1単位時間の内容を補足する写真・図版資料を本文の周りに配置し、「未来にアクセス」等のコラムを活用し、課題解決に必要な情報を収集できるよう工夫されている。</p>	
総 括	<p>○「単元の構成」で課題解決的な学習のプロセスが可視化され、学習課題、本文、資料、チェック&amp;トライ等、紙面の要素を定位置に配置することで1時間の学習の流れが分かりやすい工夫がされている。評価の観点に対応した「まとめの活動」が設定されている。単元の導入、展開、まとめにおいて学びを支えるQRコンテンツが活用できるようになっている。</p>	

書名 項目	<h2 style="text-align: center;">中学社会 公民 とともに生きる</h2>	<div style="text-align: center;">17 教 出</div>
内 容	<p><b>&lt;知識及び技能が習得されるようにするための工夫&gt;</b>          ○各章の導入で学習テーマに関連する身近な例を写真やイラストで示して学習する際の視点を捉え、章末の「学習のまとめと表現」を行うことで個人と社会との関わりを中心に学習理解を深められるように工夫されている。また、技能や表現力を養うためのグループ活動等を紹介する「公民の技（9テーマ）」や、資料を読み取る手掛かりとなる「THINK！」が適宜設定されており、技能を身に付けられるよう工夫されている。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b>          ○思考力、判断力、表現力等を効果的に育成するため、ディベート等の表現活動を行う「TRY（13テーマ）」や、各章の最後に、思考ツールを活用して考察して表現する「STEP」が設定されている。</p> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b>          ○各章の「学習のまとめと表現」では、資料を基にした話し合い活動を通して課題解決に取り組むことで何を学んだのかを捉えられるよう工夫されている。          ○実社会の課題と向き合い、探求していくことで社会参画の意識が高まるように各章末の「学習のまとめと表現」に「JUMP！」が設定されている。</p> <p><b>&lt;課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫&gt;</b>          ○各章の導入では、生徒の生活体験から出発する「ウォーミングアップ！公民」が設けられ、単元を貫く課題を捉え、見通しをもたせている。また、1時間の授業ごとの追究課題を提示し、課題を追究・解決していくよう工夫されている。</p>	
資 料	<p>○学習効果を高めるために、「まなびリンク」からウェブサイトを紹介して関連サイトから情報や資料を収集することができるよう工夫されている。また、見開きの左ページ上部に導入・中心資料が掲載され、資料と解説、キャラクターのコメントで資料の見方を示している。さらに、学習内容を深化させるために「公民の窓（39テーマ）」「SDGs（17テーマ）」と関連付けた特設ページ等が設定されている。</p>	
表記・表現	<p>○全体の紙面は色覚等の特性を踏まえた配色や表現方法であるユニバーサルデザインを、書体にはUDフォントを採用し、学びやすくなるよう工夫されている。          ○1単位時間の内容理解の補助として本文の周りに用語解説を設け、「公民の技（9テーマ）」でグループ学習を通して技能や表現力を養えるよう工夫されている。</p>	
総 括	<p>○各章の学習のはじめに課題を捉え、見通しを立て、課題解決的な学習を積み重ね、まとめの学習で振り返り、考察する流れとなっている。各章で意識させたい現代社会の「見方・考え方」をそれぞれの導入ページで示し、「まとめと表現」のページで章の「問い」について「見方・考え方」を働かせながら考察できるよう工夫されている。SDGsが、公民の学習全体に関わる大切な視点として紹介されている。</p>	

書名 項目	<h1>社会科 中学生の公民</h1>	4 6 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">           帝 国         </div>
内 容	<p><b>&lt;知識及び技能が習得されるようにするための工夫&gt;</b>          ○各章の導入として「学習の前に」で日常の社会生活を鳥瞰したイラストを示し、そこから学習を開始するとともに、章末の「学習を振り返ろう」でもそのイラストを再度活用してまとめを行うことで、個人と社会との関わりを中心に学習理解を深められるように工夫されている。また、思考ツール等の技能を紹介する「技能をみがく（6テーマ）」や、資料を読み取る手掛かりを示した「資料活用」の問いが適宜設定され、技能を身に付けられるよう工夫されている。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b>          ○思考力、判断力、表現力等を効果的に育成するため、対話を通して学びを深める「アクティブ公民（10テーマ）」や、単元を貫く問いを思考ツールを活用して考察する「学習を振り返ろう」が設定されている。</p> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b>          ○各章の「学習の前に」では学習内容を概観する導入や視点がイラストとともに示されており、章全体の見通しをもって主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。          ○問いを軸とした構造化された単元構成であり、章末の「学習を振り返ろう」では、章の問いについて協働的に学習する場面が設定されている。</p> <p><b>&lt;課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫&gt;</b>          ○章・節・各本文ページそれぞれの冒頭で学習する内容の問いを、末尾に課題を設けている。それぞれの問いと課題では、協働的に学習する場面が設定され、課題の追究・解決に向けて取り組めるよう工夫されている。</p>	
資 料	<p>○学習効果を高めるために、QRコンテンツを利用することで、PC等での資料の閲覧や関連動画の視聴、振り返り問題の解答確認ができるようになっている。また、見開き左ページ上部に生徒の身近な事例等の写真やイラストが導入資料として掲載され、資料活用の視点とともに示されている。さらに、学習内容を深化させるため「公民プラス」やSDGsへの意識を高める「未来に向けて」等が設定されている。</p>	
表記・表現	<p>○全体の紙面は色覚等の特性を踏まえ、カラーユニバーサルデザインに配慮した色調、書体にはUDフォントを採用し、見やすく分かりやすい工夫がされている。          ○内容を補足する写真・図版資料を本文の周りに配置し、「確認しよう」「説明しよう」を活用して、学習内容の確認と振り返りができるよう工夫されている。</p>	
総 括	<p>○単元のはじめに、イラストを読み解く学習活動を通して単元の学びを見通し、単元のまとめで、思考ツールや「対話的な学び」を通して、節の問いや章の問いに取り組み、単元の学習を振り返る流れとなっている。主体的・対話的で深い学びと指導と評価の一体化が実現しやすいように工夫されている。「アクティブ公民」では、社会参画を疑似体験できるシミュレーション学習が設定されている。</p>	

書名 項目	<h1>中学社会 公民的分野</h1>	116 日 文
内 容	<p><b>&lt;知識及び技能が習得されるようにするための工夫&gt;</b>          ○各章の導入にある「学習のはじめに」で身近な生活の例を示し、章の問いを立て、章末の「まとめとふり返り」でその問いに答える活動を行うことで、個人と社会との関わりを中心に学習理解を深められるよう工夫されている。また、情報の読み取り等を行う「情報スキルアップ（2テーマ）」や、資料を読み取る手掛かりを示している「資料活用コーナー」が適宜設定されており、技能を身に付けられるよう工夫されている。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b>          ○思考力、判断力、表現力等を効果的に育成するため、現代社会の見方・考え方を働かせながら学習理解を深める「アクティビティ（41テーマ）」や、現代社会の課題について考察・構想をする「チャレンジ公民（5テーマ）」が設定されている。</p> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b>          ○各章の導入では、その章の学習内容を概観する漫画が掲載されており、見通しをもって主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。          ○身近な地域の抱える課題や将来について考え、社会参画を促すための手掛かりとなる「明日に向かって（10テーマ）」が設定されている。</p> <p><b>&lt;課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫&gt;</b>          ○各章の学習内容を活用し、現代社会の課題について考察、構想する活動として「チャレンジ公民」が設定されている。争点を明確にした資料を提示することで全ての生徒が議論に参加し、課題を追究・解決できるよう工夫されている。</p>	
資 料	<p>○学習効果を高めるために、「QRコンテンツ」から、ポートフォリオ、イントロダクションムービー、確認小テスト等を利用できるようになっている。また、見開きの左ページ上部に写真やイラスト、グラフ等の資料が掲載され、キャラクターのコメントで資料の見方が示されている。さらに、学習内容の理解を深めたり、発展して考えたりするために「公民+α（22テーマ）」や「チャレンジ公民」等が設定されている。</p>	
表記・表現	<p>○全体の紙面はカラーユニバーサルデザインへ対応し、グラフ・地図等の図版の配色に配慮され、書体はUDフォントを採用し、学びやすくなるよう工夫されている。          ○1単位時間の内容を補足する写真・図版資料を本文の周りに配置し、「見方・考え方」では働かせるべき視点を示し、学習内容を深く理解できるよう工夫されている。</p>	
総 括	<p>○構造的に「章の問い」や「節の問い」が設定され、その回答を行うコーナーやページがあり、見通しをもって学習に取り組めるよう工夫されている。教科書「QRコンテンツ」には、構造的な問いに沿ったワークシート「ポートフォリオ」が用意されている。公民を学ぶ楽しさを感じられるように、新しい事例や、生徒が身近に考えられる事例が掲載されている。</p>	

書名 項目	<h1>新しい公民教科書</h1>	225 自由社
内 容	<p><b>&lt;知識及び技能が習得されるようにするための工夫&gt;</b>          ○単元最後の「ここがポイント！」において、授業で押さえるべき確認事項を示し、「アクティブに深めよう（9テーマ）」という特設ページで社会の仕組み等について考察することによって、個人と社会との関わりを中心に学習理解を深められるように工夫されている。また、学習内容を深めるための調べ学習や話合いの視点を示す「やってみよう」が適宜設定され、終章では「論文の書き方」等が示されており、技能を身に付けられるよう工夫されている。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b>          ○思考力・判断力・表現力等を効果的に育成するため、各章最後にテーマを選択・考察し、表現する「学習の発展」や、現代社会の見方・考え方を働かせて考察する「アクティブに深めよう（9テーマ）」が設定されている。</p> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b>          ○各章の「学習のまとめと発展」では章の学習を発展させるためにテーマを選択し、既習事項を生かしてまとめることで何を学んだのかを捉えるよう工夫されている。          ○重要な事柄を深く理解するために関連する単元に特設ページとして「もっと知りたい」というコラムが設定されている。</p> <p><b>&lt;課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫&gt;</b>          ○各単元の最初に学習課題が設定され、最後に授業で押さえるべき確認事項をまとめた「ここがポイント！」が示されている。これらの学習過程を通して基礎的・基本的な知識を習得させることを目指した学習に取り組めるよう工夫されている。</p>	
資 料	<p>○学習効果を高めるために、各単元の見開きには「ミニ知識」というコラムを設け、学習内容の理解をより深めようと工夫されている。また、重要な事柄を深く理解するために「もっと知りたい」という大きなコラムも関連する単元に特設ページとして掲載されている。さらに、学習内容を深化させるための調べ学習や話合い活動の視点を示した「アクティブに深めよう」や「やってみよう」等が設定されている。</p>	
表記・表現	<p>○全体の紙面は、ゴシック体を採用した重要語句が関連した単元に複数掲載されているなど、全体のつながりを意識して学習を進められるよう工夫されている。          ○1 単位時間の内容理解の補助として本文の周りに用語解説を設け、1 単位時間の最後に内容を総括する記載があり、学習課題を解決できるよう工夫されている。</p>	
総 括	<p>○各章の最後に「学習のまとめと発展」、終章のレポート、卒業論文、ディベート等が設定され、様々な表現活動に取り組めるよう工夫されている。重要語句は太字で示し、巻末の索引に記載され、補足も側注に記載されているため、基礎的・基本的な知識の習得に取り組めるようになっている。「アクティブに深めよう」では、自ら考え、表現する活動が設定されている。</p>	

書名 項目	<h1>新しいみんなの公民</h1>	227 育鵬社
内 容	<p>＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞</p> <p>○各章の導入「入り口」では、学習内容の大筋を捉えさせる言語活動を示し、各章の章末「これから」では、社会に見られる課題について考察・構想をすることで、個人と社会との関わりを中心に学習理解を深められるように工夫されている。また、ディベートの仕方等を示した「スキルアップ（7テーマ）」や資料について取り組む課題を示す「資料活用」が適宜設定されており、技能を身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <p>○思考力、判断力、表現力等を効果的に育成するため、見開きごとに学習内容を自分の言葉でまとめる鉛筆マークや、現代社会の見方・考え方を働かせ討論や考察等の小集団での協働的な活動を促す「やってみよう（11テーマ）」等が設定されている。</p> <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <p>○各章の導入の「入り口」では、章全体の学習内容の趣旨を捉えさせる言語活動が設けられ、学習内容の見通しをもって主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>○各章の章末には、章で学習した内容を踏まえて、社会に見られる課題を自分事として考えさせ、社会参画への態度を養えるように「これから」が設定されている。</p> <p>＜課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫＞</p> <p>○各章及び見開き1単位時間の紙面では、「つかむ」・「調べる」・「まとめる」の問題解決型学習の構成となっており、学習内容を深く理解し、課題を追究・解決する学び方の工夫がされている。</p>	
資 料	<p>○学習効果を高めるために、目次と各章の冒頭にあるQRコードから、学習内容に関連する動画を閲覧したり、情報を収集したりすることができるよう工夫されている。また、章の冒頭では「どうして学ぶの？」コラムを設け、自らの日常生活や将来に向けてどう役立つかが示されている。さらに、学習内容を深化させるための「学習を深めよう」や、学習を発展させるため「TRY！（16テーマ）」等が設定されている。</p>	
表記・表現	<p>○全体の紙面は色覚特性を踏まえて、図版は判別しやすい色や表示にする等、見やすくなるように、書体はUDフォントを採用し分かりやすいよう工夫されている。</p> <p>○1単位時間の内容を補足する写真・図版資料を本文の周りに配置し、「学習を深めよう」では、発展的な資料を示し、学習内容を深められるような工夫がされている。</p>	
総 括	<p>○各章の導入で学習内容の趣旨を捉え、章末には、その章で学習した内容を踏まえて、課題解決的な学習に取り組む工夫がされている。問題解決できるような課題設定と、1時間で資料を効果的に使えるような工夫がされている。発表や議論の仕方、ロールプレイング、ディベート、KJ法等、公民の基礎的な技能を身に付ける「スキルアップ」が設定されている。</p>	

社会科（公民的分野） 調査資料 2

○内容別ページ数等

※教科書に記されたページ数を数えたもの

内容	東書	教出	帝国	日文	自由社	育鵬社
A 私たちと現代社会	31	26	28	32	42	28
(1) 私たちが生きる現代社会と文化の特色	21	16	20	18	22	17
イ 現代社会を捉える枠組み	10	10	8	14	20	11
B 私たちと経済	52	64	66	60	44	54
(1) 市場の働きと経済	38	29	44	42	21	39
(2) 国民の生活と政府の役割	14	35	22	18	23	15
C 私たちと政治	92	90	86	90	78	80
(1) 人間の尊重と日本国憲法の基本的原則	40	44	41	46	43	40
(2) 民主政治と政治参加	52	46	45	44	35	40
D 私たちと国際社会の諸課題	43	45	44	44	60	43
(1) 世界平和と人類の福祉の増大	35	36	34	10	42	36
(2) よりよい社会を目指して	8	9	10	34	18	7
その他（資料ページ・索引）	28	39	46	47	44	51
総ページ数※目録に記載されたページ数	246	270	262	274	269	262
QRコードの数	110	21	38	90	0	6

※総ページ数には、目次や中表紙も含まれているため合計と一致しない。

○項目別取り上げた事項

(1) 現代社会を捉える枠組み（「対立」と「合意」、「効率」と「公正」など）を養う学習

	内容
東書	部活での体育館利用規則を作る事例/公約から判断する市長選挙の事例/アイドルグループのファン投票の事例/議員になって条例を作る事例など
教出	合唱コンクールの練習場所の割り振りを考える事例/ゴミ収集所の設置場所を考える事例/子どもたちが暮らしやすいまちづくりを考える事例/給食の作り方から考える事例など
帝国	マンションの騒音問題の解決を考える事例/民主主義のあり方を考える事例/パン屋の起業を考える事例/赤字路線バスに税金を使うべきか考える事例など
日文	合唱コンクールの練習スケジュールを考える事例/地域の公園づくりから考える事例/道路の拡張計画から考える事例/自分たちのまちの首長を選ぶ設定から考える事例など
自由社	部活での体育館使用規則を作る事例/魅力ある「まちづくり」から考える事例/家事方法の進歩が社会にもたらした影響から考える事例/お店を出店する設定から考える事例など
育鵬社	部活動の平日のグラウンド割りを考える事例/マンションでのペットの飼育をめぐる問題の解決を考える事例/物々交換ゲームから考える事例/救急車の「不要不急」の利用問題を議員になって考える事例など

(2) 法や金融に関する学習

	内容
東書	ちがいのちがいの私の選ぶ自由は/プライバシーの権利と表現の自由について考えよう/先住民族としてのアイヌ民族/模擬裁判をやってみよう/需要量・供給量・価格の関係について考えよう など
教出	ともに生きる社会の実現へ/死刑制度について考えよう/ネット社会で人権を守ることとは/「新しい人権」を考える/日本国憲法の”最も大切な考え方”とはなんだろう/なぜ裁判員裁判の制度があるのだろうか など
帝国	防犯カメラを巡って/有名人の個人情報無断で公開することについて/青果店を営む男性はどうなる？/裁判の判決を考えよう/もしも無人島に漂着したら？/ライフプランから金融を考えよう など
日文	人間らしく生きるために必要なものは？/ビッグデータと防犯カメラ/ネット社会とつき合う方法/15歳は「子ども」？それとも「大人」？/裁判員裁判シミュレーション/為替相場の変化の影響 など
自由社	立憲主義の大切さについて考えよう/基本的人権のどの項目にあたる行為でしょうか/権利の平等に関する問題/新しい人権/犯罪被害者の人権保障の動き/裁判員制度 など
育鵬社	世界の人権問題/新聞の社説を比べてみよう・ディベート/裁判員になって判決を考えよう/最高裁判所裁判官の模擬審査をしてみよう/革新的な金融サービス/人生をデザインしようシミュレーション など

### (3)国家主権・領土に関する学習

	内容
東書	主権国家/沖ノ鳥島/国際法/国旗・国歌/領土をめぐる問題の現状（竹島問題、北方領土問題、尖閣諸島への対応）/特設ページ「もっと知りたい」沖縄復帰/拉致問題
教出	主権国家/国旗・国歌/国際法/北方領土/竹島/尖閣諸島/特設ページ「持続可能な社会に向けて」なぜ、外交の役割は重要なのだろう（中国との外交関係、北朝鮮との外交関係、ロシアとの外交関係）/拉致問題
帝国	主権国家/国際法/国旗・国歌/拉致問題/北方領土/竹島/尖閣諸島
日文	主権国家/国旗・国歌/国際法/沖ノ鳥島/北方領土/竹島/尖閣諸島/特設ページ「日本の領土をめぐる問題の解決に向けて」（北方領土、竹島、尖閣諸島、世界の領土問題とその解決）/拉致問題
自由社	主権国家/北方領土/竹島/尖閣諸島/沖ノ鳥島/天然ガス採掘施設/国旗・国歌/特設ページ「もっと知りたい」国旗と国歌を考えてみよう/特設ページ「もっと知りたい」わが国の領土問題（北方領土、竹島）/特設ページ「もっと知りたい」海をめぐる国益の衝突（尖閣諸島、E E Zの広さ）/特設ページ「もっと知りたい」日本人拉致問題/巻末「わが国の領域」
育鵬社	国旗・国歌/主権国家/国際法/拉致問題/特設ページ「拉致問題と私たち」/北方領土/竹島/尖閣諸島/沖ノ鳥島/特設ページ「日本の領土をめぐる問題」

### (4)「よりよい社会を目指して」に関する学習

	内容
東書	持続可能な社会の形成者として/持続可能な社会を実現するために/課題の設定/資料の収集と読み取り/意思決定/提案参加/探究を続ける
教出	私の提案「自分を変える、社会を変える」をつくろう/テーマを選ぶ/表現方法の選択/テーマ設定の根拠/自分自身の変化と社会の変化/自分にとっての持続可能な未来とは/私の提案「持続可能な未来への対話」
帝国	巻頭「未来に向けて よりよい社会を目指して」/私たちと持続可能な社会/「学習の前に」地域的課題を探してみよう/持続可能な国際社会に向けて/特設ページ「脱炭素社会に向けて地方公共団体の挑戦」「持続可能な社会に向けて大阪・関西万博」
日文	持続可能な社会をめざして/テーマの設定/資料の収集と読み取り/考察と構想/まとめと評価
自由社	持続可能な社会を目指して/レポートと卒業論文をつくろう/「持続可能な日本社会をつくるために私たちは何ができるか」を考え、「卒業論文」を作成してみよう
育鵬社	よりよい社会をめざして/テーマを決めよう/課題探求の計画を立てよう/プレゼンテーションをしよう/内容の見直し/レポート作成 私は内閣総理大臣「国づくり計画書」を作成/巻末「持続可能な社会をめざして」

## 社会科（地図）調査資料 作成の観点

書名 項目	○○○○ ○○○○	発行者番号 発行者名
内 容	<p>＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞</p> <p>○我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解できるようにするため、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○地図の読図や作図、景観写真の読み取りなどの地理的技能を身に付けられるようにするために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <p>○社会的事象の意味や意義などを多面的・多角的に考察したり、諸課題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力を養うために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <p>○地図や統計などに平素から親しみ、課題の追究・解決のための教材として効果的に活用する意欲を育むために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>＜課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫＞</p> <p>○多様な視点に着目し、課題を追究したり解決したりする活動が展開できるようにするために、どのような工夫が見られるか。</p>	
資 料	<p>○作業的・体験的な学習を促すために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○資料を活用しやすいように、検索にどのような工夫が見られるか。</p>	
表記・表現	<p>○学習効果を高めるために、表記・表現にどのような工夫が見られるか。</p> <p>○読み取りやすいように地図中の地名表記や彩色・配色、土地利用や等高線などに、どのような工夫が見られるか。</p>	
総 括	(全体的な特徴、その他)	

社会科（地図）調査資料 1－1

書名 項目	<h1 style="margin: 0;">新しい社会 地図</h1>	2 東 書
内 容	<p> <b>&lt;知識及び技能が習得されるようにするための工夫&gt;</b>            ○判型をA4判とし、広い範囲の地図を大きく表示する等、多くの情報を掲載できるよう工夫されている。            ○世界の各州・日本の各地方には、地域の概観に役立つ、自然・産業・人口などの主題図を共通して掲載しており、基本的な知識が習得できるように工夫されている。         </p> <p> <b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b>            ○地理的分野の学習のほかに、歴史的分野、公民的分野の学習とも連携した資料も掲載され、社会的事象を多面的・多角的に考察できるように工夫されている。            ○「Bee's eye」問いに取り組むことで、複数の図を比較、検討し、資料活用能力や思考力を高められるよう工夫されている。         </p> <p> <b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b>            ○世界の各州の自然環境や生活・文化、産業などのイラストを配した鳥瞰図を掲載したり、関連するコンテンツに接続するためのQRコードが設置されたりするなど、主体的に地図帳を活用できるように工夫されている。         </p> <p> <b>&lt;課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫&gt;</b>            ○「Bee's eye」において自ら調べたり考えたりする問いや、SDGsに代表される現代社会の諸課題に関する資料やアイコンが掲載され、課題を追究・解決する活動が展開できるように工夫されている。         </p>	
資 料	<p>           ○SDGsをテーマとしたページや現代社会の諸課題に関する資料を掲載し、様々な諸問題が扱われている。            ○世界、日本、統計、索引でインデックスを大きく色分けし、世界は州、日本は地方ごとに細かく色分けされている。            ○世界の各州や日本の各地方に関連する地図や資料を閲覧できるデジタルコンテンツに接続するためのQRコードが掲載されている。         </p>	
表記・表現	<p>           ○基本図は等高段彩表現にレリーフ（陰影）表現を合わせた立体感のある地図表現であり、文字もUDフォントが使用されている。            ○基本図で示した地域を位置図で示されている。            ○折り込みページを設けられ、地図記号を確認しやすくなっている。巻頭で地図の見方が示されており、資料の見方や他分野での活用方法が掲載されるなど、地図が使いやすくなるよう工夫されている。            ○歴史的分野や公民的分野に関連するページが設けられ、分野の枠を超えた「社会的な見方・考え方」を基に、学習テーマを深められるように工夫されている。         </p>	
総 括	<p>           ○A4判にすることで、地図をより広域に表せるようになったり、複数の主題図を掲載できるようになったりして、その地域を捉えやすくする工夫がされている。            ○防災への意識を高めながら、防災をテーマとした学習を深められるように、防災に関する地図や資料が掲載されている。            ○歴史的分野や公民的分野に関連するページを位置付け、3年間の社会科の学習全体で活用できるように工夫されている。            ○3種類の質の異なる問いを使い分けた「Bee's eye」を見開き1ページに1問以上設定し、地図や資料を読み取る力を身に付けさせる工夫がされている。         </p>	

社会科（地図）調査資料 1－2

書名 項目	<h1>中学校社会科地図</h1>	4 6 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">           帝 国         </div>
内 容	<p>＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○巻頭の「地図帳の使い方」により、方位、地図記号、縮尺、さくいんの使い方など、地図帳の基本的な見方・使い方を生徒が主体的に活用できるよう工夫されている。</li> <li>○要所に配置された問い「地図で発見！」から、地図の読み取りなどの地理的スキルが身に付けられるようになっている。</li> </ul> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○資料図は、比較を通して地域の特色が考察できるように、自然や人口などの主要素については縮尺が統一されている。</li> <li>○要所に配置された問い「地図で発見！」は「社会的な見方・考え方」を働かせるように作成され「思考力、判断力、表現力」の育成につながる工夫がされている。</li> </ul> <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○世界の各州の自然環境や生活・文化、産業などのイラストを配した鳥瞰図や、関連するコンテンツに接続するためのQRコードが掲載され、主体的に地図帳を活用できるように工夫されている。</li> </ul> <p>＜課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○社会的な見方・考え方を働かせた学習に活用できるように、問い「地図で発見！」や、持続可能な社会の実現に向けてSDGsに関する資料やアイコンが掲載され、課題を追究・解決する活動が展開できるように工夫されている。</li> </ul>	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○SDGsの特設ページ「地図で考える持続可能な社会」が新設され、「持続可能な社会の実現」に向けて考察できるように工夫されている。</li> <li>○左上にタイトル、右上にページ番号、右端にインデックスが配置され、レイアウトが統一されている。</li> <li>○世界の各州や日本の地方ごとに、主体的な学びを助ける様々なコンテンツに接続するためのQRコードが掲載されている。</li> </ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基本図は等高線彩表現にレリーフ（陰影）表現を合わせた立体感のある地図表現であり、文字も読みやすいUDフォントが使用されている。</li> <li>○基本図で示した地域を位置図で示され、同緯度・同縮尺の日本が示されている。</li> <li>○折り込みページを設けられ、地図記号を確認しやすくなっている。巻頭の「地図帳の使い方」では、内容について丁寧な解説が示されるなど、地図が読みやすくなるように工夫されている。</li> <li>○基本図や資料図に「地図で発見！」を示し、読図等のスキルが身に付くだけでなく、「社会的な見方・考え方」を働かせた問題解決的な学習につながるよう工夫されている。</li> </ul>	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大判の紙面により、各州の地域的特色を大観したり、他州や他地域とのつながりを捉えやすくなったりする工夫がされている。</li> <li>○防災や環境をテーマとした学習を深められるように、防災や環境に関する地図や資料が掲載されている。</li> <li>○歴史アイコンや公民アイコンが設けられ、歴史的分野や公民的分野の学習と関連付けて学習できるよう工夫されている。</li> <li>○多くのページに設けられた「地図で発見！」の「問い」を追究することで、「社会的な見方・考え方」が身に付けられるように工夫されている。</li> </ul>	

社会科（地図） 調査資料2

○内容別ページ数・地図数

内容	ページ数		写真の数		基本図の数		部分図の数		QRコードの数	
	東書	帝国	東書	帝国	東書	帝国	東書	帝国	東書	帝国
地域構成（世界）	3	3	0	0	1	1	1	1	0	0
地域構成（日本）	3	4	0	3	1	2	1	9	1	2

【世界の様々な地域】

内容	ページ数		写真の数		基本図の数		部分図の数		QRコードの数	
	東書	帝国	東書	帝国	東書	帝国	東書	帝国	東書	帝国
世界各地の人々の生活と環境	8	15	24	79	1	1	0	0	4	1
アジア	16	22	8	33	4	5	3	4	8	2
ヨーロッパ	12	12	5	4	3	3	0	0	6	2
アフリカ	4	4	9	4	1	1	0	0	2	2
北アメリカ	8	8	2	4	2	2	1	1	4	2
南アメリカ	3	5	3	5	1	2	0	0	2	2
オセアニア	6	4	1	3	2	1	0	3	3	2
その他	1	3	0	0	1	2	2	5	0	0

【日本の様々な地域】

内容	ページ数		写真の数		基本図の数		部分図の数		QRコードの数	
	東書	帝国	東書	帝国	東書	帝国	東書	帝国	東書	帝国
九州地方	8	8	0	1	3	2	13	6	4	2
中国地方	6	8	0	0	2	2	1	1	3	3
四国地方	6	8	0	0	2	2	0	0	3	3
近畿地方	12	14	4	6	3	3	1	3	6	5
中部地方	8	12	0	6	3	5	1	2	4	3
関東地方	14	12	3	6	3	3	2	2	7	2
東北地方	5	5	1	0	1	1	1	2	2	2
北海道地方	9	9	0	0	3	3	3	3	4	2

【日本の地域的特色と地域区分】

内容	ページ数		QRコードの数		写真の数	
	東書	帝国	東書	帝国	東書	帝国
自然環境	6	8	3	4	11	23
人口	2	2	1	1	0	1
資源・エネルギーと産業	6	6	3	2	3	5
交通・通信	2	2	1	1	0	1
生活・文化等	1	2	1	1	16	33
世界の統計表	3	4	2	2	統計表の項目数	12 13
日本の統計表	2	3	1	1	統計表の項目数	27 18
索引	9	11	1	0		
総ページ数	176	198				

※総ページ数には、中表紙等も含まれるため合計と一致しない。

※総ページ数は目録に掲載しているページ数

【日本の諸地域の考察の仕方に関する資料数】

内容	資料数	
	東書	帝国
自然環境	8	9
人口や都市・村落	6	13
産業	6	23
交通や通信	1	2
その他の事象	2	6

※「一般図」のうち、1ページ以上のサイズのもの  
「基本図」とし、それ未満のものを「部分図」とした。

※統計については、表題のあるものを数えた。

## 数学科調査資料 作成の観点

書名	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <span style="font-size: 2em;">○○○○</span> <span style="font-size: 2em;">○○○○</span> </div>	発行者番号 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">発行者名</span>
項目		
内 容	<p> <b>&lt;知識及び技能が習得されるようにするための工夫&gt;</b>                      ○数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解できるようにするために、どのような工夫が見られるか。                      ○事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けることができるようにするために、どのような工夫が見られるか。                 </p> <p> <b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b>                      ○数学を活用して事象を論理的に考察する力を養うために、どのような工夫が見られるか。                      ○数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力を養うために、どのような工夫が見られるか。                      ○数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養うために、どのような工夫が見られるか。                 </p> <p> <b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b>                      ○数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度を養うために、どのような工夫が見られるか。                      ○問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養うために、どのような工夫が見られるか。                 </p> <p> <b>&lt;数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成するための工夫&gt;</b>                      ○数学的活動を通して、上記3つの観点で示された資質・能力をバランスよく育成するために、どのような工夫が見られるか。                 </p>	
資 料	○挿絵・写真・図表等の扱いに、どのような工夫が見られるか。 ○学習効果を高めるために、統計資料等には、どのような工夫が見られるか。	
表記・表現	○見やすいレイアウトや読みやすい表現にするために、どのような工夫が見られるか。 ○記号、用語、単位等の表現には、どのような工夫が見られるか。	
総 括	(全体的な特徴、その他)	

書名 項目	<b>新編 新しい数学</b> ～MATH CONNECT 数学のつながり～	2 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">東 書</div>
内 容	<p> <b>&lt;知識及び技能が習得されるようにするための工夫&gt;</b>            ○章の学習は、「Q」、「例」、「問」で構成され、「例」と似た問題に「♡」マーク、典型的な誤答を「×まちがい例」、既習事項の確認を「ちょっと確認」、一授業の境目に「クイックチェック」が設けられている。節末「基本の問題」、巻末「補充の問題」では、本文参照ページが示され、振り返りができるように工夫されている。         </p> <p> <b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b>            ○各節にある『Q考えてみよう』は働かせてほしい数学的な見方・考え方を問う問題が示されている。各節の終わりの『学びをふり返ろう「見方・考え方」』では各節で働かせてほしい数学的な見方・考え方がまとめられている。章末の「深い学び」では大切にしたい数学的な見方・考え方が示されている。         </p> <p> <b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b>            ○各節の最初に、学習意欲を高めるための導入課題が設定されており、身の回りの問題を解決する活動から学習につながるように工夫されている。「数学のまど」や章末「数学×社会」では、社会で数学を活用している人や職業を紹介し、学習した数学の有用性を実感しやすいように工夫されている。         </p> <p> <b>&lt;数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成するための工夫&gt;</b>            ○「学びをふり返ろう」で、生徒が自ら働かせた数学的な見方・考え方を意識し、そのよさが分かるよう、内容のまとまりごとに学習を振り返る場面を設けられている。巻末に、章の学習後にその章で働かせた見方・考え方を振り返る「数学の目でふり返ろう」が設定され、同じ数学的な見方・考え方を前の学習や先の学習でも働かせていることを、具体例を通して確認できるよう工夫されている。         </p>	
資 料	<p>○4人の中学生キャラクターたちが身近な問題場面に直面して、対話しながら多様な考え方や気づきを促すように工夫されている。</p> <p>○「数学とスポーツ栄養士」など持続可能な社会を見据えた資料が取り上げられている。</p> <p>○デジタルコンテンツが使える内容には「D」マークが付けられている。</p>	
表記・ 表現	<p>○単元の始めに、身の回りとの関連ページが、学習課題として「Q」、発展課題「数学のまど」が枠囲みで示されている。</p> <p>○新しい用語はゴシック太字で示され、ルビが振られている。</p> <p>○右ページ外側に章ごとのインデックスが黄色とピンク色で交互にある。</p>	
総 括	<p>○巻頭で「デジタルコンテンツの使い方」、「大切にしたい数学の学び」、「数学マイノート」、「この本の構成と使い方」が掲載されている。</p> <p>○章の導入には、主体的な学びのために、「章とびら」や「Q」、「学習課題」が設けられている。章末には、章の基本的な学習内容を確認するための「章の問題」が設けられている。巻末には、深い学びを振り返ることができるように、「もっと数学をつなげよう」が設けられている。</p>	

書名 項目	<h1 style="margin: 0;">数学の世界</h1>	4 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">大日本</div>
内 容	<p> <b>&lt;知識及び技能が習得されるようにするための工夫&gt;</b>            ○章の学習内容を「活動」、「例」、「例題」、「Q」で身に付け、「プラス・ワン」で補充することができるように構成されている。「補充問題」では、自主的に取り組める問題を設けている。節末「たしかめよう」、巻末「補充問題」では、本文参照ページが示され、振り返りができるように工夫されている。         </p> <p> <b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b>            ○巻頭「数学の世界へようこそ」では、問題発見・問題解決の流れ、数学的な見方・考え方が示されている。節内には、他者の考えが妥当かを判断する問題「判断しよう」や、他者の考えの内容を説明する問題「伝えよう」、学習を振り返ったり、ひろげたり、活用したりする問題「学びにプラス」が設けられている。         </p> <p> <b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b>            ○導入では、新しい学習への興味・関心を引き出すように、身近な題材が扱われている。また、数学の面白さや楽しさを味わえるように、読み物「MATHFUL」が設けられている。巻末「課題学習」、「活用・探究」では、各章の学習が総合したり、日常生活や社会、他教科の学習と関連付けたりする課題が取り上げられている。         </p> <p> <b>&lt;数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成するための工夫&gt;</b>            ○巻頭「数学の世界へようこそ」で問題発見・問題解決の流れを示し、見いだした問題の解決の仕方が身に付くように工夫されている。また、「ノートの手書き」では、学習を振り返ることができるノートの書き方の工夫が紹介されている。章末「社会にリンク」では、仕事の中の数学を紹介している。巻末「課題学習」では、各章の学習を総合したり、生活や他教科の学習に関連したりする問題が扱われている。         </p>	
資 料	<p>○6人の中学生キャラクターたちが身近な問題場面に直面して、対話しながら多様な考え方や気づきを促すように工夫されている。</p> <p>○デジタルコンテンツが使える内容には「WEB」マークが付けられている。</p> <p>○「フード・マイレージ」など持続可能な社会を見据えた資料が取り上げられている。</p>	
表記・表現	<p>○学習を始める手掛かりとなる問題として「考えよう」が、学習のめあてとして「めあて」がゴシック太字で示されている。</p> <p>○新しい用語はゴシック太字で示され、必要に応じてルビが振られている。</p> <p>○右ページ外側に節ごとのインデックスがあり、内容領域で色分けされている。</p>	
総 括	<p>○巻頭で「この教科書の使い方」、「数学の世界へようこそ」、「ノートの手書き」が掲載されている。</p> <p>○各章に1箇所ずつ、問題発見、問題解決の流れが示されている。本文や章の終わりには、家庭学習に取り組めるように、「力をのばそう」、「活用・探究」、「社会にリンク」などが設けられている。巻末には、生活や学習との関連を図るために、「課題学習」、「MATHFUL」などが設けられている。</p>	

書名 項目	<h1>中学校 数学</h1>	1 1 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">学 図</span>
内 容	<p>＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞</p> <p>○「Q」では生徒キャラクターの対話を、「例」では適宜ノート形式の解答を示し、「問」で構成され、「計算力を高めよう」を通して、基礎・基本を身に付けられるように工夫されている。典型的な誤答を「正しいかな？」で示されている。節末「確かめよう」では、本文参照ページが示され、振り返りができるように工夫されている。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <p>○巻末「見方・考え方をまとめよう」では、問題解決の際の思考の流れが整理されている。各節にある「どんなことがわかったかな」では各節で働かせてほしい数学的な見方・考え方がまとめられており、また「見方・考え方」では育成してほしい見方・考え方の問題が示されている。</p> <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <p>○各節の最初には、学習する内容への興味・関心を引き出すために身近な題材が扱われている。章末「できるようになったこと」で学習を自己評価し、「さらに学んでみたいこと」で自分の言葉で記入できるように工夫されている。章末「数学へのいざない」では、身の回りで活用されている数学が掲載されている。</p> <p>＜数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成するための工夫＞</p> <p>○章全体が「具体的な事象」→「疑問・問題発見」→「数学的に表現した問題・焦点化した問題」→「数学的な見方・考え方を活用した予想」→「問題の解決」→「まとめ」→「生徒自身の新たな疑問」で構成されている。「数学的活動のページ」では、話し合いをベースに、生徒が主体的に疑問の発見から新たな疑問を発見する過程を協働的に行えるように工夫されている。</p>	
資 料	<p>○2人の中学生キャラクターたちが身近な問題場面に直面して、対話しながら多様な考え方や気づきを促すように工夫されている。</p> <p>○「カーボンニュートラル」など持続可能な社会を見据えた資料が取り上げられている。</p> <p>○デジタルコンテンツが使える内容にはQRコードが付けられている。</p>	
表記・表現	<p>○単元の始めに、学習につながる課題のページが、学習課題としての「Q」、「目標」が枠囲みで示されている。</p> <p>○新しい用語はゴシック太字で示され、ルビが振られている。</p> <p>○右ページ外側に章ごとのインデックスが緑色と橙色で交互にあり、章と節がある。</p>	
総 括	<p>○巻頭で「この教科書を使った数学の学び」、「ノートの使い方」、「単位の書き方」、「QRコードの使い方」が掲載されている。</p> <p>○各領域の始めに、既習事項をまとめた「ふりかえり」のページがある。章の学習の中に「どんなことがわかったかな」が適宜設けられ、これまでの学習のまとめが示されている。章末には「深めよう」のページが設けられ、より発展的な問題が掲載されている。</p>	

書名 項目	<h1 style="margin: 0;">中学数学</h1>	17 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">教 出</div>
内 容	<p> <b>&lt;知識及び技能が習得されるようにするための工夫&gt;</b>            ○各章の入口に「○章を学習する前に」、出口に「学習のまとめ」を設け、「たしかめよう」で基礎・基本を身に付けられるように工夫されている。章の学習は「Q」、「例」、「たしかめ」、「問」で構成されている。節末「基本の問題」、巻末「補充問題」では、本文参照ページが示され、振り返りができるように工夫されている。         </p> <p> <b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b>            ○各節に登場するキャラクターの吹き出し部分には働かせたい見方・考え方が示されている。巻頭「大切にしたい数学的な見方・考え方」では数学の学習で働かせたい見方・考え方が紹介されている。各節にある「見方・考え方」では育成したい数学的な見方・考え方がまとめられている。         </p> <p> <b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b>            ○章のはじめに、「L e t ' s T r y」で学習意欲を高める導入課題が身の回りの問題から設定されている。章末「数学の広場」、「数学しごと人」では、各章での発展的内容や知識、数学の歴史や社会で数学を活用している職業や考え方を紹介し、生徒が興味・関心をもちやすい話題が掲載されている。         </p> <p> <b>&lt;数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成するための工夫&gt;</b>            ○「みんなで数学をはじめよう！」や「学びのプロセスページ」で問題発見・解決の過程を示すことで主体的・対話的な学び方が意識できるように工夫されている。「はてな？」(生徒の疑問)から、主体的・対話的な学びを通して、「なるほど！」(わかったこと、解決のしかた)を見いだし、さらに「だったら！？」(新たな疑問)へつなげる数学的活動のサイクルを位置付け、学習が展開されている。         </p>	
資 料	<p>○4人の中学生キャラクターたちが身近な問題場面に直面して、対話しながら多様な考え方や気づきを促すように工夫されている。</p> <p>○「地球温暖化問題」など持続可能な社会を見据えた資料が取り上げられている。</p> <p>○デジタルコンテンツが使える内容には「まなびリンク」マークが付けられている。</p>	
表記・表現	<p>○単元の始めに、学習につながる課題「L e t ' s T r y」のページがあり、新しい学習のきっかけとして「Q」が枠囲みで示されている。</p> <p>○新しい用語はゴシック太字で示され、ルビが振られている。</p> <p>○右ページ外側に章ごとにインデックスが青色と緑色で交互にあり、章と節がある。</p>	
総 括	<p>○巻頭で「教科書の使い方」、「みんなで数学をはじめよう!」、「大切にしたい数学的な見方・考え方」、「工夫してノートを書こう」が掲載されている。</p> <p>○章の始めに、既習事項を振り返る「学習する前に」のページがある。章の学習の中に学習のプロセスのページが適宜設けられ、問題を見いだし解決し、振り返るプロセスが示されている。章末には章の基本的な学習内容を確認するための「学習のまとめ」が設けられている。</p>	

書名 項目	<h1 style="margin: 0;">未来へひろがる数学</h1>	61 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">啓林館</span>
内 容	<p> <b>＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞</b>            ○各章の本文中に既習事項をまとめた「ふりかえり」や、既習事項から新しい学習につながる「ひろげよう」が設けられている。章の学習は「例」、「例題」、「問」、「練習問題」で構成されている。章末「学びをたしかめよう」、巻末「もっと練習しよう」では、本文参照ページが示され、振り返りができるように工夫されている。         </p> <p> <b>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</b>            ○巻頭「たいせつな考え方」では、働かせたい数学的な見方・考え方が説明されており、各節にある働かせたい数学的な見方・考え方の箇所に色下線で示されている。巻末にある「学びをいかそう」では数学的な見方・考え方を働かせ思考する問題が設けられている。         </p> <p> <b>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</b>            ○節のはじめの「節とびら」では、QRコンテンツが配置されており、その章での学習内容にまつわる内容の理解が深められるように工夫されている。章末「数学ライブラリー」では、数学の歴史や社会で数学を活用している場面など、数学への興味・関心が高まるような話題が掲載されている。         </p> <p> <b>＜数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成するための工夫＞</b>            ○利用場面に「ステップ方式」を導入し、「問題を設定する、解決する、解決の過程を振り返って改善を図ったり新たな問題を設定したりする」といった数学的な問題発見・解決の過程を意識できるように工夫されている。わかったこと、できるようになったことを振り返り、育まれた資質・能力を確認して更に学びたいことに目を向けられるよう、「○章のあしあと」を設けられている。         </p>	
資 料	<p>○2人の中学生キャラクターたちが身近な問題場面に直面して、対話しながら多様な考え方や気づきを促すように工夫されている。</p> <p>○「AEDと救命率」など持続可能な社会を見据えた資料が取り上げられている。</p> <p>○デジタルコンテンツが使える内容にはQRコードが付けられている。</p>	
表記・ 表現	<p>○節の学びがはじまる場面は「節のとびら」で、新しい学びのきっかけとなる問題は「ひろげよう」のマークで示されている。</p> <p>○新しい用語はゴシック太字でルビが振られている。説明は茶色枠で囲われている。</p> <p>○右ページ外側に章ごとのインデックスが青色で示されている。</p>	
総 括	<p>○巻頭見返して「ICTの活用でひろがる数学の学習」、巻頭で「構成と使い方」、「ノートのかふう」が掲載されている。</p> <p>○各節に「学習のとびら」（導入課題）を設け、主体的・対話的で深い学びのために、言語活動のコーナー「説明しよう」、「話し合おう」が配置されている。学んだことにまつわる読み物「数学ライブラリー」や、学んだことを身の回りで活用する課題「学びをいかそう」が設けられている。</p>	

書名 項目	<h1 style="margin: 0;">これからの数学</h1>	104 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">数 研</div>
内 容	<p> <b>＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞</b>            ○各章の前や本文中に既習事項をまとめた「ふりかえり」が設けられている。章の学習は「Q」、「TRY」、「例」、「問」、「練習問題」を通して、基礎・基本を身に付けられるように工夫されている。節末「確認問題」、巻末「ぐんぐんのぼそうチャレンジ編」では、本文参照ページが示され、振り返りができるように工夫されている。         </p> <p> <b>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</b>            ○巻頭「数学的な見方・考え方」や各節に登場するキャラクターの吹き出し部分は働かせたい数学的な見方・考え方が示されている。節内にある「考えよう」や章末にある「学んだことを活用しよう」や巻末にある「ぐんぐんのぼそうチャレンジ編」では数学的な見方・考え方を働かせ思考する問題が設けられている。         </p> <p> <b>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</b>            ○各節の最初では、身の回りの題材を扱うことで、生徒が興味・関心をもって学習に取り組めるように工夫されている。また「やってみよう」や「調べよう」など、その章で学習した内容にまつわる活動的な話題が設けられ、興味・関心に応じた取扱いができるように工夫されている。         </p> <p> <b>＜数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成するための工夫＞</b>            ○新たな内容を学ぶ活動の中で、「見いだしたことがら」、「解決するための方法」、「成り立つ理由」といったことを説明する機会が設けられている。キャラクターが対話を通して学習内容の理解を深めていく姿が見えることで、授業における問題解決のプロセス部分（一般化、部分に着目、関係を考える、同じように考える、条件を変える）に焦点が当たるように工夫されている。         </p>	
資 料	<p>○4人の中学生キャラクターたちが身近な問題場面に直面して、対話しながら多様な考え方や気づきを促すように工夫されている。</p> <p>○「ポリオワクチン」など持続可能な社会を見据えた資料が取り上げられている。</p> <p>○デジタルコンテンツが使える内容には「Link」マークが付けられている。</p>	
表記・表現	<p>○活動を通して解決する課題を「TRY」マークで、学習の中で大事にしたい問いかけを「Q」のマークで示されている。</p> <p>○新しい用語はゴシック太字で示され、ルビが振られている。</p> <p>○右ページ外側に節ごとのインデックスが青色で示されている。</p>	
総 括	<p>○巻頭で「この教科書について」、「学習の進め方」、「ノートをつくり方」が掲載されている。</p> <p>○章の始めには既習事項をまとめた「ふりかえり」のページがある。章末には、生活と学習の関連を図るために、「学んだことを活用しよう」が設けられている。巻末「数学旅行」では、社会との関わり方を考えることができる話題が掲載されている。後見返りに学び方の意識を高めるための「学びの自己評価」が設けられている。</p>	

書名 項目	<h1>中学数学</h1>	1 1 6 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">日 文</div>
内 容	<p><b>&lt;知識及び技能が習得されるようにするための工夫&gt;</b>          ○章のはじめに「次の章を学ぶ前に」、本文中に「確かめ」で既習事項を確認できるように工夫されている。章の学習は、「Q」、「例」、「問」で構成され、基礎・基本の定着のために、「まちがえやすい問題」が設けられている。節末「基本の問題」、巻末「補充問題」では、本文参照ページが示され、振り返りができるように工夫されている。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b>          ○章の扉で示されている問題に対するキャラクターの対話や吹き出し部分には、働かせたい数学的な見方・考え方が示されている。節末にある「学びに向かう力を育てよう」や巻末「数学研究室」、「活用の問題」では数学的な見方・考え方を働かせ思考する問題が設けられている。</p> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b>          ○巻末「学びに向かう力を育てよう」では、別冊の「ふり返しシート」を使って、更に発展した問題を考えることができるように工夫されている。巻末「数学のたんけん」、巻末「数学マイトライ」では、数学への興味が高まるように学習内容に関連したコラムや課題が扱われている。</p> <p><b>&lt;数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成するための工夫&gt;</b>          ○巻頭の「数学の学習を始めよう！」で、数学的活動を通じた問題発見・解決の過程と学び方のポイントが示されている。巻頭の「数学的な見方・考え方を身につけよう！」で、数学的な見方・考え方を働かせながら学ぶことの大切さが説明されている。各小節の横欄に「大切な見方・考え方」が示され、生徒が数学的な見方・考え方を働かせられるように工夫されている。</p>	
資 料	<p>○4人の中学生キャラクターたちが身近な問題場面に直面して、対話しながら多様な考え方や気づきを促すように工夫されている。</p> <p>○「車いすマラソン」など持続可能な社会を見据えた資料が取り上げられている。</p> <p>○デジタルコンテンツが使える内容にはQRコードが付けられている。</p>	
表記・表現	<p>○小節の始めに「めあて」が橙色のゴシック太字で、導入課題「Q」が緑色枠で囲われている。</p> <p>○新しい用語はゴシック太字でルビが振られている。説明は水色枠で囲われている。</p> <p>○右ページ外側に章ごとのインデックスが青色と緑色で交互に示されている。</p>	
総 括	<p>○巻頭で「この本の使い方」、「数学の学習を始めよう!」、「学びに向かう力を育てよう!」、「数学的な見方・考え方を身につけよう!」、「ノートのくふう」、「ICTを活用しよう!」が掲載されている。</p> <p>○章の始めに既習事項を確認する「次の章を学ぶ前に」のページがある。活用の場面では、切り離して使用する「対話シート」が設けられている。「数学のたんけん」や巻末「数学マイトライ」では、数学と社会の関連が図られている。</p>	

数学科 調査資料 2

○分量について

内容		学年	東書	大日本	学図	教出	啓林館	数研	日文
1	総ページ数	1年	321	324	319	343	299	316	319
	※目録に記載された ページ数	2年	257	250	262	275	235	267	263
		3年	289	302	320	311	279	324	300
2	A 数と計算	1年	106	112	120	126	102	110	104
		2年	46	54	60	58	48	60	50
		3年	82	90	92	94	80	98	78
	B 図形	1年	68	74	72	74	72	74	60
		2年	66	70	74	80	68	68	70
		3年	84	82	100	94	82	92	78
	C 関数	1年	40	40	42	36	34	36	38
		2年	38	32	38	36	36	38	36
		3年	34	34	40	32	30	34	34
	D データの 活用	1年	24	26	33	32	27	26	34
		2年	32	32	37	37	29	34	34
		3年	14	18	19	17	17	18	14
	課題学習等	1年	83	72	52	75	64	70	83
		2年	75	62	53	64	54	67	73
		3年	75	78	69	74	70	82	96

○領域別教材数等について

内容		学年	東書	大日本	学図	教出	啓林館	数研	日文
1	総単元数 (章の数)	1年	8	7	7	8	7	7	7
	2年	7	7	7	7	7	7	7	
	3年	8	8	8	8	8	8	8	
2	A 数と計算	1年	4/10/22	3/12/36	3/8/20	4/11/26	3/8/20	3/9/23	3/9/36
		2年	2/4/8	2/6/17	2/4/8	2/4/10	2/4/7	2/4/10	2/4/18
		3年	3/8/17	3/8/30	3/7/17	3/8/19	3/7/15	3/8/19	3/7/28
	B 図形	1年	2/6/13	2/8/30	2/4/11	2/6/12	2/7/12	2/5/12	2/6/20
		2年	2/5/12	2/5/25	2/4/11	2/5/15	2/6/13	2/5/13	2/4/24
		3年	3/7/14	3/9/32	3/7/15	3/8/16	3/8/14	3/6/14	3/6/26
	C 関数	1年	1/4/9	1/4/13	1/4/6	1/4/7	1/4/7	1/3/7	1/4/14
		2年	1/4/9	1/3/9	1/3/6	1/3/7	1/3/7	1/3/7	1/3/12
		3年	1/3/5	1/2/10	1/2/5	1/3/5	1/3/6	1/2/5	1/2/11
	D データ の活用	1年	1/3/4	1/3/9	1/2/4	1/2/5	1/2/3	1/2/4	1/2/9
		2年	2/3/4	2/4/8	2/2/5	2/2/4	2/3/5	2/3/5	2/2/8
		3年	1/1/2	1/2/6	1/1/3	1/1/3	1/1/3	1/1/2	1/1/3

○日常生活や社会のできごとなどを取り扱った例（下記の用語は教科書の表記による）

東書	1年:現在のチームを分析しよう（データの分析と活用） 2年:スタート位置を決めよう（式の計算） 3年:コピー用紙はどんな長方形？（平方根）
大日本	1年:海外に住む友だちと交流しよう（数の世界のひろがり） 2年:どちらの電球を買う？（1次関数） 3年:パスタメジャーを作ろう（相似と比）
学図	1年:震源までの距離は？（比例と反比例） 2年:CTスキャンと数学（連立方程式） 3年:丸太からとれる角材は？（平方根）
教出	1年:1000Wで温めたときの加熱時間は？（比例と反比例） 2年:期待値（確率） 3年:どちらを買うほうが得になるかな？（相似な図形）
啓林館	1年:1日乗り放題のチケットを買った方がいい？（方程式） 2年:AEDの重要性がわかるグラフ（一次関数） 3年:車は急にとまれない（関数 $y = ax^2$ ）
数研	1年:深海の水圧（比例と反比例） 2年:ダイヤグラム（一次関数） 3年:リレーのバトンパス（関数 $y = ax^2$ ）
日文	1年:表計算ソフトの活用（データの活用） 2年:猛暑日は増えている？（データの比較） 3年:どこまで見えるか調べよう（三平方の定理）

○その他

内容	学年	東書	大日本	学図	教出	啓林館	数研	日文
QRコードの数	1年	241	20	130	124	130	113	172
	2年	192	12	83	78	103	93	123
	3年	215	21	116	83	121	104	117